

船舶事故調査報告書

平成29年1月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	火災
発生日時	平成28年8月2日 05時40分ごろ
発生場所	熊本県上天草市永浦島 ^{ながうる} 北方沖 天草大矢野橋橋梁灯（C1灯）から真方位287° 1,330m付近 （概位 北緯32° 32.9′ 東経130° 24.5′）
事故の概要	プレジャーボート ^{たかしま} 高島丸は、航行中、火災が発生した。
事故調査の経過	平成28年9月26日、主管調査官（長崎事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 高島丸、2.9トン
船舶番号、船舶所有者等	293-23405熊本、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	機関室内配線及びブローパイホースが焼損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人3人を乗せ、釣りの目的で、定係港を出港し、永浦島北方沖を航行中、船長が、操舵室下側の機関室から黒煙が上がっているのを認め、機関を停止し、消火器及びバケツを使用して消火活動を行い鎮火した。</p> <p>本船は、来援した海上保安庁の監視取締艇によって鎮火及び油の流出等の確認が行われた後、僚船により定係港にえい航された。</p> <p>海上保安庁の情報によれば、機関室船尾側壁付近の配線に短絡痕が顕著に残っていた。</p> <p>船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p> <p>船長は、日頃から、ビルジやオイル量の点検は行っていたが、配線等の劣化状況については点検していなかった。</p>
分析	本船は、機関室船尾側壁付近の配線が、被覆材の劣化によって短絡したことから、被覆材が発火して付近の配線等に延焼した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船の機関室船尾側壁付近の配線が、被覆材の劣化によって短絡したため、被覆材が発火して付近の配線等に延焼した可能性があると考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気配線は、定期的に外観等を点検し、必要に応じて新替えする

	こと。
--	-----